

縦割りロング集会

21日（月）に行った縦割り班ロング集会では、オリエンテーリングに挑戦しました。地図を頼りに芝公園内に設けられた17か所のチェックポイントを探していた子供たち。先生を見付けると、うれしそうに駆け寄り、何にチャレンジすればよいのかを笑顔で聞いていました。「ダジャレ選手権」「早口言葉」「アスレチック」など、体も頭も働かせて、班のチームワークを深めながら集会を楽しんでいました。今回の集会では、6年生の班長を中心に、積極的に声をかけ合い、協力してゴールを目指す姿が多く見られました。みんなが安全に楽しく活動できるように、いつも以上に気を配っていた6年生。リーダーとしての務めをしっかり果たし、ロング集会を大成功に導いていました。

また、オリエンテーリング後の給食も縦割り班で食べることで、和やかな雰囲気での給食時間とすることができました。少し疲れた様子を見せる子供もいましたが、ロング集会の出来事などを話題にしながら、おいしそうに給食を食べていました。

今回の集会をきっかけにして、異学年の交流をさらに深めていくことを期待しています。（特活部 田邊 あゆみ）



あさがおさん ありがとう —第1学年—



1年生は、生活科の学習で、あさがおを育ててきました。入学して少したってから、種を植えました。毎朝忘れずに水をやり、数日経って芽が出たときには、とても嬉しそうに「先生、芽が出たよ。」と報告してくれました。最初は2枚だった葉が、どんどん増えて大きくなる様子を、じっくりと見て観察カードに記録しました。夏になって美しい花が咲き始めると、「赤い花が咲いたよ。」「今日は5個も咲いたんだ。」と、育ててきたあさがおの成長を喜ぶ姿がたくさん見られました。夏休みも水やりと観察を続け、9月には種の収穫も行いました。実の中から、自分たちが春に植えたものと同じ種が取れることに、小さな感動を覚えていました。そして先日、大切に育ててきたあさがおのつるで、リース作りの準備をしました。枯れてきたつるを切ってまとめて、輪っかを作りました。冬になったら飾り付けをし、リースを完成させる予定です。

鉢の中の土も片付けて、半年間のあさがお栽培が終わりました。種植えの頃には、水やりをするにも観察カードを書くにも、「どうすればいいの?」「できない!」と大騒ぎだった1年生。今では、様々なことが自分たちでできるようになりました。あさがおとともに大きく成長した子供たちが、これからも、美しく生き生きとした花を咲かせることができるよう、努めていきます。（1年担任 室伏 あゆみ）

スピーチ大会

10月9日（水）の第2校時、第4校時に、低・中・高学年に分かれてスピーチ大会を行いました。どの学年も、各クラスの代表2名ずつが2学年の子供たちや保護者の方が見ている前で、自信をもってスピーチする様子が見られました。

低学年では、代表に選ばれた子供は大きな声で堂々と話し、聞いている子供たちの見本になりました。聞いている子供たちも熱心に耳を傾けました。来年、もし選ばれたら、自分もあのようなスピーチをしたいなと憧れの気持ちをもった子供もいました。

中学年は、インタビューしたり資料を調べたりした内容を整理してまとめ、自分の考えを伝えました。代表の子供は、声の大きさだけでなく、視線や間などを意識し、自分の思いが伝わるスピーチの仕方を意識して取り組みました。そのスピーチから様々なことを学んだことが皆の感想から読み取れました。

高学年は、日常から問題を見付け、そのことについて自分の考えをまとめてスピーチしました。考えたことや自分の意図が伝わるように、話の組み立てを工夫しながら話すことを目標にしました。スピーチ大会当日は、代表の友達のスピーチの意図をつかみながら聞く、高学年らしい姿が見られました。（国語部 町田 真由美）



歯磨き指導

10月11日（金）、25日（金）に8つの学級で秋の歯科検診と歯磨き指導を行いました。むし歯がある子供は少なかったのですが、歯磨きができていない子供が多くみられました。

特に生えただばかりの永久歯は弱くむし歯になりやすいうえに、奥にあるため十分にブラシが届かず磨けていない子供が多かったです。せっかく生えたきれいな永久歯を守るよう、意識して歯磨きをしてほしいと思います。今回の歯磨き指導では鏡を見ながら、歯ブラシがきちんと当たっているか確認しながら磨きました。毎日実行できるといいですね。

残りの4学級は11月6日（水）に行います。（養護教諭 大竹 千登勢）



跳んで、走って、投げて魅せた連合運動会 —第6学年—



10月15日（火）に駒沢陸上競技場で港区立小学校連合運動会が行われました。

各校の6年生が100m走や自分が選んだ種目に挑戦をして、記録を競います。一人一人が目標をもって朝練習や放課後練習に取り組み、自己記録の更新を目指して頑張ってきました。

連合運動会当日、他校の子供たちと一緒に競技をすることに緊張もしましたが、練習の成果を発揮することができました。ハードル走では、練習の時からハードルをぎりぎりの高さで跳べるようにフォームを改善してきました。途中ハードルを倒したり、転んでしまったりすることもありましたが、最後まで走り抜きました。走り高跳びでは、2回の挑戦で課題の高さを跳ばなくてはならない中、全員が自己記録を更新する素晴らしい跳躍を見せてくれました。走り幅跳びでは、踏切板に合わせて跳ぶ練習をしてきました。どの子供も広い競技場で踏み切りを合わせることに苦労しましたが、力強く跳ぶことができました。ソフトボール投げでは、半径1mの円の中でステップを踏んで投げる練習をしてきました。広い競技場だったので思う存分いっぱい投げる姿が印象的でした。競技の最後は4×100mリレーでした。出場したレースで女子が2位、男子が3位と学校の代表として精一杯最後まで走りぬいてくれました。御成門小の友達が頑張る姿に声援を送るだけでなく、他校の友達の活躍にも拍手を送りました。自分も練習を続けてきたからこそ、その頑張りが理解できたので、声援を送る姿に成長を感じました。

保護者の皆様には、9月の下旬から子供たちの早朝練習にご協力いただきありがとうございました。体調を崩す子供もなく、継続的に練習をすることができました。（6年担任 吉村 徹志）

リレー遊びに はりきる子供たち —第2学年—

2年生は今、体育でリレー遊びをしています。まずは、グループで声を掛け合い励まし合うことを伝えてきました。「がんばれ!」「上手に走っていたよ!」「体育座りで待とう!」勝敗を意識しつつも、みんな優しく声を掛け合うことができるようになりました。待っているときの姿勢も背筋が伸びた、とてもきれいな体育座りです。カラーコーンやミニハードル、輪っかなどを用いた障害物リレーも行いました。「どのように障害物を置くと、走りやすいだろう。」と考えながらグループの友達と作戦タイムを開きます。試行錯誤を繰り返して、自分たちで走りやすいコースを作って、楽しく活動しました。友達と協力し合い、共に考えを出し合い、よりよいものをつくっていく。他の教科でも通じる大切なことを学んでいます。（2年担任 林 依子）

